

FX

必勝法

その3



目次

目次	1
プロトレーダーを諦める	2

【FX 必勝法その3】プロトレーダーを諦める

こんにちは、深見純です。

今回もお読みいただきありがとうございます。

また今回も、

最後までお読みいただけたら、

嬉しいな、と思います。

今回は、

「**FX 必勝法その3**」です。

具体例というよりも、

まだ**抽象度が高い**ところにあるので、

最後だと思って、

お読みいただければと思います。

まず

「**FX 必勝法その 2**」のおさらいとして、

相場で重要な考え方について、

説明しました。

今回

これを**おさらい**するということは、

これが**非常に重要な考え方**だということです。

この3つです。

何事も起こりうる。

優位性は 49.9 対 50.1 にしか過ぎない。

そして、利益を出すために、

次に何が起こるか、知る必要はない。

この考え方、

これが**最も大事**にしているところになります。

これを忘れてしまうと、

どうしても人間というのは、

本能的に優位性を探して、

そっちに賭けていってしまう。

そして、

ボーッとしていると、

利益を出すために、

次に何が起こるか知る行動をしてしまう。

なので、

それをきちっと理解して、

思い出すということをしていただきたいと思います。

投資全般に関して、そういう概念です。

投資全般です。

FX、暗号通貨、

いろんな投資案件があって、
それを、いろんなことに対して、
全部こうだということです。

仮想通貨も

「これはいくらなんだ、これはいいぜ」

なんて言ったって、

49.9 対 50.1 というふうに見える。全て。

なので、**口座分けをする必要**があるのです。

口座分けをして、

いろんなロジック、やり方等々を、

分けていくことになります。

それで、

前回の**メルマガ**でもお話したのですが、

それで駄目になっている人というのは、

仕方がないです。

これこそ、

何ごとも起こり得るという範疇になるし、

運が悪いとしか言いようがない。

分散して、**全て吹き飛ぶ**ということは、

基本的にありえないのですけれど、

それでも**吹き飛ぶ**としたら、

徳を積んでいないとしか、

言いようがないです。

どうにもならないです。

なので、**両方大事**だということです。

そして**取引**に対しても、

この**50対50の見方**。

全て、

この考え方で、

構築をしていきます。

ある意味、

FX だけじゃなくて、

ご自身がやっているお仕事も、

そういうふうを考える。

人生ですら、そう考えるということです。

今回は、

私たちは、

一般個人投資家であるということを、

知るというお話です。

私たちは、**一般個人投資家**であるという前提で、

FX をやる目的は、

何でしょうか。

お金を増やすこと、

要は、**証拠金**を入れて、

ある程度時間をかけ、

お金を増やすこと。

そして **FX に勝ちきっていくこと。**

両方あります。

これは、

一般個人投資家として考えたときに、

どちらがいいんでしょうか。

あなたはどっちですか。

そういうことになります。

仮に、

FX というもの、

そのものがなくなっても大丈夫ですか。

為替 というものよりも先に、

外国為替証拠金取引 というものが、

この世からなくなっても、

大丈夫ですかということです。

これも**投資全般**における、

フィフティ・フィフティ。

何ごととも起こりうるという観点で見たら、

頭の中に入れておくことなのです。

それは、

可能性としては低いにしても、

「大丈夫ですか」と訊かれたときに

「ああ、全然大丈夫です」と言えるかということです。

必ず両方を見る習慣です。

「これがなくなっても大丈夫ですか」

「あ、大丈夫です」

「これができなくても大丈夫？」

「あ、大丈夫ですよ」

「これ下がってもどうですか」

「あ、大丈夫ですよ」

「上がったらどうするのですか」

「あ、大丈夫ですよ」

「大丈夫です」って言えますかということです。

一般個人投資家には、

一般個人投資家に最適な方法というのが、

あるということです。

プロになりたい人というのは、
あまり価値を感じないでしょう。

プロと一般個人投資家の違いというのが、
あるのです。

違いを認めましょうということです。

これは私が認めているところと言ってもいいと思います。

我々、一般個人投資家は、

相場の世界では、プランクトンレベルで、

何の影響力も無い。

何もないのです。

影響力がゼロに等しい。

相場は動かしている人がいて、

その人の気分で動いていることを、

知りましょう。

これは、認めましょうということです。

一般個人投資家じゃなくて、

相場を動かしている人がいます。

ある筋の人たち、

その人たちが動かしているということ。

一般人が知る、

相場に関わるニュースは、

すでに出来上がった後の話であること。

もうすでに、

シナリオができていて、

それに**到達した時点で**、

一般人にニュースとして知れ渡る。

出来上がった話なのです。

出来上がったもので、

取り引きをしてしまっているということになります。

これは私が思うのですが、

私も含め、一般人が

正解を導き出すのは無理と考えたほうが、

勉強する内容、努力することが、

変わるのではなかろうかということなのです。

プロと、**一般個人投資家**、

それに**大きな差**があります。

でも別に**プロ**になるのが悪いと

言っているのではないです。

でも**プロ**になる努力をするのは、

どういうことかというのを、これからお話します。

だから、

一般個人投資家で、**プロ**というもの、

先ほどのことを認めた上で、

私は、**チャート情報のみに徹すること**にしました。

そして、

シンプルにすることにしました。

上がったらどうする、

下がったらどうするということにしました。

要は、この**3つ**ぐらいに絞りあげたのです。

絞ったということです。

これは、

絶対それが良いと言っているわけではないのです。

よく考えてみたらいかがでしょうかと言っているだけなのです。

潔く、

無力な一般個人投資家であることを認めれば、

理解できるのではないかと思っているのです。

「いや、そんなことはない」と

思ってもらってもいいのですが、

やはり**一般人が目にする、**

耳にすることというのは、

もうすでに完了している情報なのです。

なので、

情報という観点で行けば、

なんとか**経済論**とか、

そういうことです。

要するに、**チャート**が先、

現実が後ということ。

マネー経済が先に動いて、

現実が後という**概念**、

考え方が必要なのです。

ニュースというのは、**現実**の話をしてします。

だけど、

その前に**マネー経済**って、

もう動いちゃっているのです。

なので、

現実から**マネー経済**を判断するのは、

困難というか、

ある意味**当たるも八卦、当たらぬも八卦**みたいな、

変な状態になっているわけです。

なので意味がないかなと思うのです。

プロになろうとしても、

別にいいんです。

否定しているわけではなくて、

別にいいんです。

今も私は、

プロトレーダーを目指しています。

いいんです、けども。

個人投資家向けに言うと、

一般個人投資家として、

無力さを認めて、方向性を変えた方が、

早く目的に到達する。

その目的というのは、

お金を増やしたいという目的だけです。

そう考えたときに、

相場に勝ちきっていく**プロ**になるより、

一般個人投資家として、方向性を変えた上で、

お金を増やせれば良いというふうに切り替えた方が、

早く目的に到達する場合があるのです。

金融業界、

FX 業界の実態は、

一般個人投資家が知る術は、

一切ないのです。

実際はこれ。

なぜか。

インターネットには 1 ミリも真実は載っていません。

よくインターネットの情報を見て、

「いや、こうです」「ああです」と言う人がいるけれど、

簡単に言うと、

インターネットに1ミリも**真実**が載っているわけがないのです。

私自身は、その業界の方と、

ご縁があるので、簡単に言うと、

1ミリも載っていないです。

だから、

FX業界、金融業界のことを、

インターネット上で調べて納得しているという時点で、

なんというか、

表の部分を見ていて、

業界の実態の部分は、

一切情報が入ってこないようになっています。

仕方がないです。

そして、

プロは、**プロの環境と情報がある**のです。

私の知り合いでも、

プロトレーダーをやっていた人もいらっしゃいますが、

やはり聞くと、**環境**がそこにあるのです。

情報がそこにあるのです。

聞くと「**そんな情報があるんだ**」

って、思います。

そういう**情報**を知りえる場所にいるのです。

その場所に、**環境**に身を置いている。

当然、**FX**というのが、本業。

それが**仕事**になっているのです。

なので、

これをどういうふうにかえるかというと、

プロの環境と情報を手にするように努力して、

その所に成り上がっていくというか、

そこに行ってしまうのか。

それとも、

一般個人投資家として、

ちょっとその世界から抜けたところにおいて、

FXをやることにシフトするのか。

これは**二択**だなと、私は思っているのです。

プロトレーダーというのは、

俗に「**相場師**」といいます。

そして、**一般個人投資家**がやること。

私たちは、**一般個人投資家**であると、

完全に認めた上でのことです。

1 番目が、

情報を捨てることです。

今までに知って、

良かれであろう情報を、どれだけ捨てるか。

断捨離みたいなものです。

情報の断捨離みたいな感じでしょうか。

そして、使う**材料**をどんどん減らす。

これは、

前回の「**その2**」で説明しましたが、

あれも、これも、それもで、
どんどん足していくのです。

それ以上は足さないと、
ある意味決めてしまいます。

これ、潔く、

無力な一般個人投資家であることを認めれば、

理解できるのではないかと思います。

もう、

あれこれ、それこれ、

いっぱいあるので、**全部捨てていく**のです。

使うものを決めて、

情報をそれ以上は**足さない**ことに徹するのです。

情報の質や量だったら、

プロトレーダーには、負けてしまうわけです。

そういうことであれば、

情報をたくさん得ようとする行為をしたところで、

プロトレーダーと同じ**情報**なんて、

得られるわけがないのです。

ということは、

情報をどんどん足すことは意味がないので、

もし今、いろんな**情報**を足しているのであれば、

それを捨てること。

どんどん減らしていくこと。

これと、これと、あれ、と決めたら、

それ以上は足さないくらいの、

捨てるという感覚になります。

私の場合は、**フィボナッチリトレースメント**と**チャネルライン**。

基本的に、私はこれだけです。

これだけに、絞ってしまっているのです。

あとは、

斜めのラインとか、**移動平均線**とか出していますが、

基本的には、それも**参考材料**というか、

フィボナッチと**チャネルライン**も**参考材料**ですが。

大きく何かの決定をしていく、

こうなったらああする、ああなったらこうすることを、

予約ベースで決定していく**材料**は、この**2つ**しかありません。

これは効くのですか、効いてないのですかといったら、

そんなの分かりません。

でも、

効いているときもあるし、

効いてないときもあるのです。

では、効いてなかったらどうする、
効いているのだったらああするが、存在するだけで、
この**フィボナッチ**と**チャネルライン**を使うことが、
正しいとか間違いというのではないのです。

この**材料を基に、上3つ、下3つを決定していく**だけです。

そして**ニュースを材料**にしない。
他の情報を材料にしないということです。

先ほど説明した

**インターネットの情報、新聞、メディアには、
全て出来上がった情報が上がっている**わけです。

それを基に、
投資材料にすることというのは、
出来上がったものにやっていくので、

当然、調子が悪いです。

一番分かりやすかったのは、

2016年のトランプ大統領の選挙です。

情報は、「トランプが当選したら、爆下げするよ」と。

もう一人、ヒラリー・クリントン。

「あれが当選すると上がるよ」となっていました。

もう、現実じゃなくて、

先に**為替**というか、**マネー経済**が動いて、

現実が来るといふ、

原理原則があるので、それを**材料**にした人というのは、

どうしても、減らしてしまいます。

けども、そうじゃない、

チャートのみに徹して、

そして、この**材料** 2つぐらいに徹していけば、
外側の情報というのは、一切取り入れないまま、
上と下で決めていくだけというふうになるのです。

シンプルになります。

足せば足すほど、複雑化して、迷うようになってしまいます。

これも「**その2**」で話した通り、
あれも、これも、それもとやると、
迷ってしまい、
しょうがなくなりますよということです。

2つに絞りましょう。

そして、**プロトレーダー**というのは、
どこに居るのでしょうか。

プロトレーダーって、

会ったことはあるでしょうかということです。

基本的に、日本にいません。

これは言って良いかどうか、分からないけれど、

日本にいるとしたら、

FX 会社のバックヤードみたいな感じかな。

バックヤード、つまり裏で、

いろんな操作をするために、

必要な**プロトレーダー**が日本にいるというのが、

まあ、**プロ**と言えば**プロ**。

基本的には、

プロトレーダーというのは、**日本にいません。**

そういう**施設**、**機関**がある場所にいます。

そして、**ネット**には出てきません。

名前も顔も公には出てきません。

特殊な場所というのがあります。

そういう**特殊な機関**、そういうところにいるのです。

当然、私だってそうです。

私は**プロトレーダー**ではないです。

プロになることを諦めた、**一般個人投資家**です。

プロと同じ勉強をすることをやめようと思ったのです。

なので、私は本当に、

普通に、そこいらへんにいる、

一般の、**個人投資家**の一人であるのだから、

プロになるための勉強を、もうやめようと、

相場を読み切る、勝ち切る、予測するというふうなやつです。

ちょっとまとめます。

要するに、

私たちは、**一般個人投資家**であるということを、

まずは認めましょう。

そうすれば、

プロになる勉強をしているのか、

一般個人投資家でもいいのかというところの、

勉強する内容というのが、変わるのです。

環境、情報が全く違う中で、

プロになろうとする必要は、

ないんじゃないかという、

私の提案というか、私がそう決めた。

香港にいたりとかしますよね、**プロ**って。

あそこで、

「何億円を、こうやって動かしていたんだ」とか、

「昔、香港にいたんだけど、今は**プロトレーダー**をやめて、
戻って来たんですよ。

今は**個人投資家**だけど、**プロトレーダー**としての
経験を生かしてやっていますけどね」って。

「そうすると、

プロトレーダーの時に見ていた**チャート**と、

こうやって**一般投資家**になって見ている**チャート**って、

全然違いますよね」と言われるわけです。

だから、

環境と情報が全くプロと一般投資家では

違うということなのです。

そして、

もしそれを認めたのであれば、

材料を少なくしましょう。

材料は極力少なくする。

今日の**メルマガ**はいかがだったでしょうか？

明日は、

「**FX 必勝法その4**」について、お話をさせていただきます。

トレードの種類と、

最適な選択という説明をしたいと思います。

トレードにはいろいろな種類があります。

短期、長期、あとは、逆張り、ブレイクアウト、

いろいろあると思います。

それに応じた、

最適な選択をできているかどうかです。

どれがいい、悪いというのではなくて、

この選択をするのであれば、

この選択をしたほうがいいのか、

あの選択をするのであれば、

こちら側の選択を用意しておかなければいけないとか。

要は、

トレードの種類を知って、自分にとって、

最適な選択をできているかどうかは、とても重要です。

ここを少し、

性格というか、

個人のお金に対するメンタリティにも関わってきます。

その辺を、

かみ合わせた状態でお話できればいいなと、思っています。

最後までお読みいただき、有難うございました。